

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）旭川林業土木協会

活動内容	「外国樹種見本林」で環境整備を実施
1 実施年月日 : 令和6年6月6日（木） 2 実施場所 : 北海道旭川市 神楽国有林 上川中部森林管理署管内 外国樹種見本林 3 参加会員数 : 上川中部森林管理署 3名 会員企業20社及び事務局1名 計114名 (使用機材) 小型ダンプ、小型ショベル及び刈払機等 4 活動内容	当協会は、平成26年に上川中部森林管理署長と「社会貢献の森」森林整備活動協定を締結しており、11年目となる今年も114名が参加し環境整備活動を実施しました。 実施に先立ち開会式では、当協会の会長から「近隣住民や観光客などが散策する皆さんのために汗を流してほしい」との挨拶の後、上川中部森林管理署長から「散策路等を良好な状態に保つために皆さんの力は必要」との主旨のご挨拶をいただきました。 今年は、遊歩道を刈り払ったあと約20㎡の木材チップ敷設及び不法投棄のゴミ拾いを実施しました。 11回目となったこの活動は、見本林内にある三浦綾子記念文学館をはじめ、近隣住民や外国人を含む観光客からも好評であり、当協会では今後も協定に基づいた活動を継続して行う予定です。
活動写真	
	
当協会会長挨拶	森林管理署長のご挨拶
	
遊歩道の刈り払い作業	遊歩道への木材チップの敷設作業

2024年
(令和6年)

6月8日
土曜日

発行所
北海道建設新聞社
〒060-0004札幌市中央区
北条通1-1-1

北海道建設新聞

外国樹種見本林を整備

旭川散策路に木質チップ

【旭川】旭川林業土木事業協同組合で構成する協会や旭川地方森林整備「旭川森人の会」は6日、



旭川市神楽地区にある外国樹種見本林の整備に取り組み、散策路に木質チップを敷きならして下刈りをした。

今回で11回目となる奉仕活動で、114人が参加した。同協会と上川中部森林管理署が締結した「社会貢献の森における森林整備活動に関する協定書」に基づき森林保全事業として継続している。同協会の新谷龍一郎会長は林業土木協会が70周年を迎えたことに触れ「観光客の市民が気持ちよく散策できるようにしよう」と協力を呼び掛け、猪股英史上川中部森林管理署長は「はげがをしないよう注意を促した」。

参加者は8班に分かれ、木質チップ約20立方メートルを散策路にまいて敷きならし、草刈りや不法投棄のごみ拾いをした。

北海道通信

昭和26年11月19日第3種郵便物認可
日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊建設版

令和 6年 6月10日(月曜日) 第19375号

発行所 札幌市中央区北5条西6丁目

株式会社 北海道通信社

☎(代) 222-3521 FAX 222-3532

発行人 松木 謙 公

支社 東京6272・4534 旭川23267 函館27781

釧路25241 帯広27872 岩見沢24957

支局 室蘭21735 苫小牧65570 網走23719

小樽230515 稚内27111 留萌22716

(購読料1ヵ月32,400円)

各企業等の社会貢献活動

来訪者が心地良い環境に

旭川林土協など 見本林整備



く過ごせるよう環境を改善した。

協会は、上川中部森林管理署と「社会貢献の森における森林整備活動に関する協定書」を締結している。活動は、協会のほか旭川地方森林整備事業協同組合や旭川市民で構成する「旭川森人の会」が

【旭川発】旭川林業土木協会(新谷龍一郎会長)は6日、旭川市内の外国樹種見本林で環境整備ボランティア活動を行った。写真。114人が参加。除草のほか遊歩道に新しい木材チップを敷設するなどし、観光等で訪れる人が心地良

主体となって実施しているもの。ことしで11回目を迎えた。新谷会長は、協会が創立70周年を迎えたことに触れるとともに「見本林を訪れる人が気持ち良く散策できるように、これからも大切に整備していきたい」と述

べ、けが等なく活動を終えるよう協力を要請した。引き続き、見本林を管理する上川中部森林管理署の猪股英史署長があいさつ。「作業個所は小説の舞台にもなっている地域。きょう

は油断や過信のないよう作業に当たってほしい」と呼びかけた。森林管理署の職員らが刃物の扱いやタニの付着などの注意事項を説明したあと、参加者は複数のグループに分かれて活動を開始。遊歩道脇の雑草を刈り払う

とともに、ごみを回収した。また、木材チップを小型トラックで搬入して遊歩道に敷設。本格的な観光ゾーンを迎えたことから、訪れる人に気持ち良く利用してもらえよう環境を整えた。